

第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成24～26年度）の進捗状況【各事業の実施概要】

●第4章「高齢者福祉施策の推進」（P33～P68）について（平成25年度の取り組み）

重点課題 5項目	施策の方針 16項目	事業数 59	平成25年度の事業実施概要
1 健康づくりと介護予防の推進	(1) 健康づくりの推進	7	それぞれの事業を確実に取り組んでいる。25年度より「健康づくりステップアップ講座」を予防健診課、生涯学習推進課、介護支援課の3課合同で開催し、7回の講座を行い、受講生は60人であった。26年度も継続して開催する。
	(2) 健診体制の充実	3	各種健診・保健指導等を確実に実施しており、受診率はやや高まる傾向にある。25年度は、(1)－①「健康教育」に力点をおいて実施したため、③の「健康相談」実施人数は減少している。
	(3) 介護予防体制の推進	8	それぞれの事業を確実に取り組んでいる。⑦「介護予防普及啓発事業」の「いきいきボールンピック」は古賀市介護予防週間イベントとして一日実施する事業であるが、練習を重ねて参加するチームが増えており、介護予防の普及、啓発が進んでいる。
2 地域での生活を支援する体制の充実	(1) 相談支援機能の充実	4	地域包括支援センターによる高齢者の総合相談・支援、権利擁護事業、介護支援専門員への個別支援や介護サービス事業所ネットワークの支援を継続して実施している。
	(2) 地域による支援体制の充実	6	平成24年度から開始した「高齢者外出促進事業」、「介護支援ボランティア事業」は2年目となり、参加者は増加傾向が著しく、26年度も継続して実施する。
	(3) 社会福祉協議会との連携	2	地域の福祉会による「見守り活動」や「サロン活動」は継続した取り組みにより参加者は増加傾向である。
3 認知症高齢者の支援体制の充実	(1) 認知症高齢者のケア体制の充実	2	平成25年4月1日に認知症対応型共同生活介護（グループホーム）「わたしのお家」1ユニット（9人分）が事業を開始した。年度末時点で、グループホーム全体の定員81人に対し68人の利用にとどまっている。
	(2) 認知症高齢者に対する理解の促進	3	認知症サポーターキャラバン事業では、認知症サポーターが累計3,750人となり、そのうち、「オレンジ教室」（小学生対象）を受講した児童は1,000人を超えている。
	(3) 認知症高齢者の権利擁護体制の充実	1	25年度は、成年後見制度の市長申立はなかった。
4 社会参加と生きがいづくりの支援	(1) 社会活動参加への支援	2	「生涯学習の充実」を行う事業には文化芸術活動やスポーツ活動など、様々な事業があるが、ここでは「コスモス市民講座」を指標としている。「コスモス市民講座」「老人クラブ」ともに参加者数、会員数がやや減少している。
	(2) 介護予防・生きがい活動支援	4	「ゆい」「りん」「しゃんしゃん」「えんがわくらぶ」全て継続した取り組みができており、「ゆい」の利用者、サポーター数がやや減少傾向である。
	(3) 就労機会の確保	2	25年度より「シルバー人材センター」はワンコインサービス事業を開始している。「無料職業紹介所」による就労人数は増加している。
5 高齢者を支援するサービスの充実	(1) 介護保険サービスの充実	5	・「高額介護サービス費」のサービス勧奨方法（申込の勧奨に具体的な金額を表示）の見直しを行った。 ・地域密着型の利用要件の見直し（古賀市に居住する子が他市町に居住する親を地域密着型施設に入所させる場合は、転入後3ヶ月を経過する要件を適用しないこととする等）を行った。 ・介護支援課老人福祉施設「みどり苑ユニット棟」（定員40人）が9月から事業を開始し、11月には満床となった。 ・居宅介護支援事業所へのケアプランチェックは確実に実施している。
	(2) 在宅生活支援サービスの充実	5	介護用品（紙おむつ）給付事業、配食サービスの利用者はやや増加する傾向である。緊急通報システム事業の利用者は減少傾向である。
	(3) 施設生活支援事業の推進	2	在宅生活困難者に対し、養護老人ホームや生活支援ハウスへの入所支援を行っているが入所措置者は減少傾向である。
	(4) 高齢者支援助成事業の推進	3	「はり・きゅう施術料助成」の発行者数、利用枚数ともに減少している。

●第5章「介護保険事業に係るサービス量と費用の見込み」(P72~P86)について(平成25年度の取り組み)

項目	平成25年度の状況
要介護認定と介護給付費	<p>○要介護(支援)認定者について(平成24年9月末と平成25年9月末時点の計画値との比較) 計画では、認定者全体の伸びを8.6%増としていたが、7.4%増にとどまった。要支援は1.9%の増としていたが、18.6%の増となった。要介護は11.0%の伸びとしていたが、2.2%の増にとどまった。</p> <p>○介護給付費について(平成25年度と計画値との比較) 全体では、計画値に対し、85.8%の実績であった。予防給付費(要支援)は計画値に対し113.6%、介護支援課給付(要介護)は82.9%であった。</p>
居宅サービス	<p>○計画を上回っている主なサービス ①訪問看護(予防) ②福祉用具貸与(予防) ③短期入所療養介護 ④通所リハ(予防) ⑤通所介護(予防) ⑥訪問介護(予防)</p> <p>○計画を下回っている主なサービス ①訪問リハ(予防・介護) ②短期入所生活介護(予防) ③訪問入浴介護(介護) ④特定福祉用具販売(予防・介護)</p> <p>○その他 短期入所療養介護の給付費が増大している。利用件数(人)はさほど伸びていないが、利用回数がほぼ2倍になったためである。</p>
地域密着型サービス	<p>○施設整備について グループホーム「わたしのお家」1ユニットを増床し、平成25年4月1日からサービスを開始した。年度末現在で、グループホームの総定員数81人に対し、入居者は68人であり、利用者数が伸びていない。</p>
施設サービス	<p>○「介護療養型医療施設」の利用者はやや減少しており、給付費は前年比約1千万円の減であった。</p> <p>○施設整備について 平成25年9月1日に「みどり苑ユニット棟」(定員40人)がサービスを開始し、11月には満床となった。</p>